



高専通信

2014/03

Vol. 10

TOYAMA National College of Technology

☑ CONTENTS

- 02 校長ご挨拶
- 03 卒業証書・修了証書授与式
- 04 本郷キャンパス
- 06 射水キャンパス
- 08 進路一覧
- 10 就職・進学体験記
- 12 インターンシップ
- 14 退職教職員挨拶
- 15 News&Topics
- 16 平成26年度行事予定・編集後記



Greetings

校長ご挨拶

できることから始めよう!

校長 石原 外美



ロシアのソチにおいて冬季オリンピックが開催されていますが、小生も毎日テレビの前で観戦しています。特に、銀メダルを獲得したスキージャンプの葛西紀明選手のジャンプに心を打たれました。葛西選手は1992年のアルベールビルオリンピックに19歳で初めてオリンピックに出場以来、今まで7回のオリンピックに出場したスキージャンプ選手としてよく知られています。彼は、スキージャンプ選手として長期間現役を続けていることと、競技に取り組む真面目な姿勢から、海外では「レジェンド(伝説)」と称され、尊敬を集めています。身体を深く前傾させて飛ぶジャンプ姿勢は、見る者に美しさと崇高の念を感じさせます。

葛西選手が現役を長期間続けられるモチベーションは何かという問いに対して、世間では、支えとなる家族がいるからだと言われています。その通り

であると思います。が、それに加えて、葛西選手は、日々の訓練を絶やさない強い意志と信念を持った人物であるからだと思います。

ロマン・ロラン(1866-1944年)というフランス出身の作家がおります。彼は、ヒューマンズムや平和主義を掲げた人物ですが、「英雄とは、自分のできることをした人である。ところが、凡人はそのできることをしないで、できもしないことを望んでばかりいる。」と言っています。

皆さんは、このロマン・ロランの英雄像が、葛西紀明選手のこれまでの生き方と重なると思いませんか? 皆さんも何ができるかを考え、できることを続けることを始めてみませんか? そして足りなかった点を追加し、改善すべき点を直しながら、継続する。皆さんのますますの成長を願いながら、この小論を閉じたいと思います。

平成25年度卒業証書・修了証書授与式



本郷キャンパス



射水キャンパス

平成25年度
**卒業証書・修了証書
授与式**
Commencement

平成25年度卒業生・修了生数

本郷キャンパス		射水キャンパス	
学科生	158名	学科生	113名
機械工学科	41名	電子制御工学科	33名
電気工学科	41名	情報工学科	35名
物質工学科	38名	国際流通学科	45名
環境材料工学科	38名	専攻科生	16名
専攻科生	24名	制御情報システム工学専攻	9名
機械・電気システム工学コース	13名	国際ビジネス学専攻	7名
機能材料工学コース	11名		

卒業を祝して

富山高等専門学校本郷キャンパス後援会会長
松岡 正美

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また保護者の皆様には、卒業という日を迎えられる喜びもひとしおのことと存じます。

そして、学校長はじめ教職員の皆様には、温かく、時には厳しくご指導いただき本当に有難うございました。さて、皆さんはこれから就職・進学とそれぞれの道に進まれることとなります。本校で学んだ知識と技術、また生涯の宝となる仲間を大切に、一步一步前進して行ってください。この本郷キャンパスはまもなく50周年を迎えようとしています。多くの先輩方が国内外を問わず様々な分野で活躍されておられます。皆さんには本校の卒業生としての自信と気概を持ち、自分のやりたい事を探し続けてほしいと思います。「継続は力なり」という一節があります。その積み重ねこそがこれからの社会を支える力になっていく事でしょう。最後になりますが、皆さんの今後の活躍と健康を祈願し、お祝いの言葉とさせていただきます。

富山高等専門学校射水キャンパス後援会会長
梅村 正義

射水キャンパス後援会を代表しまして、一言ご挨拶をさせていただきます。

みなさん、本日はご卒業、おめでとうございます。

保護者の皆様にはお子様が立派に成長され、今日の日を迎えられたことをお祝い申し上げます。また、校長先生はじめ先生方におかれましては、今日までのご指導を心よりお礼申し上げます。

さて、みなさんは、富山高等専門学校統合前に入学した最後の卒業生となりますが、射水キャンパス後援会も今年で解散し、本郷キャンパス後援会と統合した新しい後援会として発足します。みなさんも卒業という一つの大きな区切りを迎え、新たな人生を迎えることとなります。社会から高い評価を得ている富山高等専門学校の卒業生としての自負を持ち、それぞれの進路で大いに活躍されることと思います。昨年の講演会で講演された青木会長も言っておられましたが、嘘をつかず、自分を信じて素晴らしい未来を歩んでいかれることを願い、私の挨拶とします。

平成25年度
卒業証書・
修了証書授与式
本郷キャンパス
Commencement
平成26年3月18日



卒業式を迎えて

環境材料工学科 熊本 勝太

期待と緊張を胸に抱きながら富山高専に入学して早5年が経ちました。卒業を迎えようとしている今、振り返ると、この5年間は長いようで短くとても充実した学生生活を送れたと感じています。

入学当初は、環境の変化や専門科目への戸惑いから不安でいっぱいでしたが、クラスメイトや教職員の方々の支えもあり、乗り越えることができました。学年が上がるにつれて専門科目や実験も増え、多くの知識や技術が身に付きました。3年と4年時の工場見学では、実際に工場を見て回り、進路を決定する上での貴重な経験となりました。一人一人が真剣に自分の将来を考え、今まで経験したことを活かし無事に全員進路を決定することができました。これからは大学に編入する人や就職する人と、別々の道を歩む私たちですが、このクラスメイトと過ごしてきた5年間は一生の宝物です。

これまでご指導いただき成長させてくださった教職員の方々や、ずっと支えてくれた家族に感謝いたします。テストのときはお互いに切磋琢磨したライバルであり、一緒に多くの思い出を作ってきたクラスメイトのみんなもありがとうございます。



充実した7年間

エコデザイン工学専攻機能材料工学コース 清水 啓佑

富山高専での7年間は、とても充実していました。特に専攻科での講義は、自分の専門分野ではより深い知識を、他学科の先生方からは幅広い知識を得ることができました。また、自分たちで問題を発見して解決するPBLでは、モノづくりの大変さを実感し、他学科出身の人とも深い関わりを持つことができました。学業以外では、本科で熱中したテニスを、後輩の指導を中心に続けてきました。特別研究では塩化物イオンの定量に関する研究を行いました。卒業研究と合わせて3年にわたって携わることができたため、じっくりと研究を進めることができました。専攻科での研究は、指導教員に頼るのではなく、自分で考えながら自力で進めることも必要です。思うような結果にならない時も多々ありましたが、自分なりに工夫し考えることによって乗り切ることができました。この経験は社会に出ても役立つものだと思います。これまで厳しく、温かくご指導してくださった教職員の皆様に感謝いたします。後輩の皆様も、学業や研究はもちろん大事ですが、学生のうちにできることを勇気をもって挑戦してください。

卒業生本校及び学会等表彰

本校表彰規程によるもの

学業優秀賞

宮越 亜蘭（機械工学科）
舟木 翔太（電気工学科）
ALANNA FARADHIYANI（物質工学科）
堀田 謙弥（環境材料工学科）

学生会活動功労賞

大林 慎太郎（電気工学科）
山口 千尋（物質工学科）
山本 真莉那（物質工学科）

寮生会活動功労賞

舟木 翔太（電気工学科）
朴木 太郎（電気工学科）
橋本 諭（物質工学科）
松岡 志織（物質工学科）

卓越した学生に対する表彰

堀 采音（物質工学科）
堀田 謙弥（環境材料工学科）

学科から学会等に推薦するもの

日本機械学会富山賞

入井 俊紀（機械工学科）

日本電気技術者協会北陸支部優良卒業生表彰

塚越 勇規（電気工学科）

電気学会北陸支部優秀学生賞

PHAM VAN TUAN（電気工学科）

映像情報メディア学会北陸支部優秀学生賞

美和 武（電気工学科）

電子情報通信学会北陸支部優秀学生賞

小野寺 大輝（電気工学科）



機械工学科5年担任

井澤 正樹

お祝い

ご卒業おめでとうございます。4年生から卒業まで、2年間にわたり担任を務めてきました。その間インターンシップや県外工場見学、就職活動、編入学試験などを経て卒業に至った訳です。これらの経験や5年間の高専生活を通して各自が自身の成長を実感しているものと思います。しかしながら、高専を卒業してもあなた方は20歳ぐらいです。見通しとしてあと60年ぐらい人生は続きます。これからの人生では学生としてではなく、社会人として身につけないといけないことを痛感すると思います。その都度謙虚にそして貪欲に学んでいってください。一生勉強、一生成長です。井澤もその最中ですが。

旅立つ者への楔

卒業おめでとうございます。ここを出た諸君らは将来と責任ある一個人であり、随分と長い旅路が待っています。そんな諸君らへ、柄じゃないので楔を咬みます。「周りの状況、情報に敏感であれ。伝聞はその真贋に対し思考を強く巡らせよ。漂うリスクを感じ取り、よりベターなものを考え続け、冷徹な選択を迷いなく断行せよ」。これからの人間にとって大事なことだと勝手に思っています。大地に足を着けて歩いてください。でも偶にぶらりと母校を訪ね、自身の今を語ってください。それはお世話になった先生方にとって替え難い至福の甘露なのです。旅立つ者たちへ祝福と栄光あれ。



電気工学科5年担任

金子 慎一郎



物質工学科5年担任

中島 栄次

卒業を祝して

皆さんご卒業おめでとうございます。私が皆さんの担任として携わった2年間はあっという間に過ぎ去り、今ここに卒業という晴れの門出をお祝いできることを本当に嬉しく思います。これから皆さん一人一人が、社会あるいは新たな勉学のステージへ歩みを進めるわけですが、世はまさに激動激変の時代です。周りに流される事なく、その場のぎにならず、今自分がすべき事をしっかり見定めて一歩一歩進みながら、厳しい時代を生きぬき、皆さん全員が幸せをつかんでくれる事を願っています。ともかく一度きりしかない人生、悔い無きように。皆さんの今後ますますのご健闘をお祈りいたします。

最後の環境材料工学科卒業生へ

卒業おめでとうございます。1年間進路指導を担当させていただきましたが、特に就職を希望する学生にとって未曾有の就職氷河期であったと思います。採用に前向きであった企業でも学校推薦から自由応募になり、厳選採用へと舵を切った例が目立ちました。最悪の状況を乗り越え、内定を勝ち得た学生諸君は、今後、困難に直面した場合でも、必ず打開してくれるものと信じています。一方、専攻科を含めた大学編入に関しては順当な成果を残してくれました。卒業後は環境材料工学科最後の卒業生としての誇りと自覚を備えた社会人として活躍してください。



環境材料工学科5年担任

高廣 政彦



副専攻科長

岡根 正樹

専攻科修了おめでとうございます

専攻科では、本科のときに別学科だった者が、一緒に学ぶ機会が多かったと思います。機械、電気、物質、材料という、小さな分野の違いですが、それでも、考え方の違いなど戸惑うことがあったと思います。これからの技術者は、チームで問題を解決する力が強く求められます。チームとは、単なる人の集まりであるグループとは異なり、多様なバックグラウンドを持つ人たちが、一つのゴールに向かって進んで行ける組織と位置づけられます。今後は、専攻科で身に付けた高度な専門知識はもちろん、チームワークやリーダーシップも大いに発揮し、それぞれの進路でご活躍されることを期待しています。

平成25年度
卒業証書・
修了証書授与式
射水キャンパス
Commencement
平成26年2月28日



5年間を振り返って

電子制御工学科 坂本 夏澄

中学校での技術で学んだ「ものづくり」についてもっと知識や技術を身につけたいということで、電子制御工学科に入学しました。入学した頃は、これから始まる専門の勉強が楽しみでした。苦手な科目や実験レポートに苦勞し、自分で選んだ進路に後悔したこともありましたが、卒業を控えた今では、勉強してきたことが実を結び、社会や大学でも通用する知識や技術を身につけられたことを誇りに思います。勉強のこと以外でも、クラスメイトや他学科の友人、部活動での先輩や後輩にも恵まれ、充実した学生生活を送ることができました。特に5年間同じ教室で学んできたクラスメイトとは、たくさんの思い出があります。卒業後は進路のため離れ離れになってしまいますが、これからもずっと良い友人でありたいです。高専生活の5年間を振り返ると、とにかくあつという間だったという印象です。しかし、この5年間でたくさんの思い出はかけがえのないものです。高専を卒業し、それぞれ新たなスタートを切りますが、高専で得たものすべてを大切に、これからも頑張っていきます。本当にありがとうございました。

専攻科修了を迎えて

国際ビジネス学専攻 亀山 茜

専攻科では、幅広い知識を身につけることができ、充実した2年間を過ごすことができました。本科で学んだ知識を広げ、専門的な知識を学ぶことができた有意義な時間であったと感じています。専攻科では、大変恵まれた環境の中で勉強することができました。

中でも、北アイルランドでのインターンシップは大変貴重な経験となりました。現地の会社を訪問し、ビジネスに関する会話を理解することは困難でした。普段聞き慣れない単語や言い回しが多く、把握するために試行錯誤したことは、自分の力になりました。異文化での体験は、語学の勉強だけでなく、国際理解についても深く考える機会となりました。また、共同生活を通して、仲間たちと協力し合い、より一層絆を深めることができました。北アイルランドでの経験は、自信に繋がり、社会生活に活かしたいと考えます。

かけがえのない仲間達と出会えた富山高専での生活は、自分自身の貴重な財産であり、今後の人生の糧となるでしょう。これまで支えてくださった教職員の方々、共に高め合ってきた同級生の仲間達に感謝いたします。

卒業生本校表彰 本校表彰規程によるもの

学業優秀賞

関 正貴 (電子制御工学科)
秋山 友貴子 (情報工学科)
広島 瑠衣 (国際流通学科)
宮田 大暉 (制御情報システム工学専攻)
山崎 裕葉 (国際ビジネス学専攻)

スポーツ賞

陸上部 井波 晃希 (電子制御工学科)
陸上部 利波 瞭 (情報工学科)
柔道部 松浦 草太 (情報工学科)

特別賞

学生会長 MUHAMMAD ILYAS (電子制御工学科)
学寮会長 村本 崇 (情報工学科)
女子学寮会長 中山 詩菜 (国際流通学科)



電子制御工学科5年担任

石田 弘樹

少ないけれど良く熟れた果実

電子制御工学科22期生のみなさん、卒業おめでとうございます。「ガウスの定理」、「ガウス分布」、「最小二乗法」、「ガウス平面(虚数)」…偉大な科学者、カール・フリードリヒ・ガウスの論文に押されている印章には、数個の実を付けた、一本の樹が描かれています。そしてこんな言葉が添えられています。“Pauca sed matura (数は少ないが良く熟れている)”。つまり、「狭くとも極める!」と未来の科学者、エンジニアにメッセージを送っているのです。数多くの偉大な発見をしたガウスだからこそ重みがあります。地面にしっかりと根を生やし一つの道を極める、そんな大人になってください。

卒業されるみなさんへ

卒業おめでとう。みなさんは就職活動や大学受験、そして卒業研究でさぞ苦労されたと思います。ところで今の気持ちはどうですか。安堵の一方で新天地での期待や不安も徐々に高まっているのではないのでしょうか。現在、世界を駆け巡る情報伝達速度は凄まじく、その情報量は人々の処理能力をはるかに超え、情報網の急速な発展による反動や弊害は無視できない状況にあります。今後迫り来る大波に対し、みなさんにはどんな時でも常に冷静で、自分を信じ、信念を貫き通してほしいと思います。最後になりましたが、一人ひとりが健康で幸せな人生を歩んでいけますよう祈念して船出の言葉といたします。



情報工学科5年担任

山口 晃史



国際流通学科5年担任

岡本 勝規

まずは自分のために

ご卒業おめでとうございます。新たなステージに踏み出す皆さんに、私から最後に伝えたいことが一つあります。それは、「まずは自分のために生きて欲しい。」ということです。世の中には個人の努力で解決できないこともあります。異議を唱えたり、やり過ぎさざるえないこともあります。分析や思想もなく、全てに全力を出すだけでは生きていけません。だから皆さん、まずは自分を守り、自分のために生きてください。そして経験を積み、自分のために生きられるようになったら、その経験と力を周りの人々にも分けてあげてください。自分を大切にできる力が、周りを大切にできる力にもなると気づくでしょう。すると、個人の努力を超えることができます。どうか、自分も周りも大切にできる豊かな人生を歩んでいってください。

夢ひとつ抱えて、前へ

専攻科の修了と学士号の取得、おめでとうございます。7年間のキャンパスでの学びを経て、就職や進学などの新しい生活が始まります。新たな道を歩み始めるに際し、将来に向けた夢をひとつ持つことを勧めます。仕事や生活の夢、どんな夢でも構いません。きっと、あなたの新しい仕事や生活を支えてくれます。“夢は「叶えた結果幸せになるもの」ではなく、「叶えようが叶えまいが持っているだけで幸せになるもの」なのです(西内啓)”。そして、悩んだ時や、何か嬉しいことがあった時には、是非、母校を訪ねてください。夢ひとつ抱えて前へ進むあなたを、教職員とキャンパスは応援しています。



専攻科長

遠藤 真

卒業生学会等表彰 学科から学会等に推薦するもの

日本機械学会 畠山賞

坂本 夏澄 (電子制御工学科)

情報処理学会 北陸支部 優秀学生賞

中山 雄大 (情報工学科)

映像情報メディア学会 北陸支部 優秀学生賞

坂田 結衣 (情報工学科)

秘書サービス接遇教育学会 学生奨励賞

島 佐央里 (国際流通学科)

オーストラリア南クイーンズランド大学 学生奨励賞

田母神 啓 (国際流通学科)

韓国延世大学校言語教育院韓国語学堂

韓国語能力優秀賞

朝野 かな子 (国際流通学科)

ロシアネヴェルスコイ海洋大学 学生奨励賞

畑田 茉莉奈 (国際流通学科)

進路一覽

本郷キャンパス

就職先

企業名は50音順に記載。()内は人数。

学 科

機械工学科 出光興産/キタムラ機械(2)/独立行政法人 国立印刷局/コマツ/ゼオンノース/田辺工業/タマディック(2)/三菱エンジニアリング/日研プラント/日本ゼオン(2)/ファインネクス/富士安全硝子工業/北陸電気工事/北陸電力/陽進堂/リッセル/ YKK黒部事業所(3)/ YKK AP

物質工学科 アステラスファーマテック/ウメケン(2)/開進堂楽器/花王/三晶MEC/ダイキン工業/ツムラ/富山化学工業(2)/日本ゼオン/日本曹達/富士化学工業/マルホ/ミス/テクニクス/ユニチカ/ユニゾーン/燐化学工業/ロキテクノ/ YKK

電気工学科 朝日印刷/出光興産/関西電力/協和マシン/北日本電機産業/三晶MEC/シキノハイテック/タマディック/中部電力/東海旅客鉄道/日本エレクトロニクスサービス/日本曹達/フォーラムエンジニアリング/一般財団法人北陸電気保安協会/北陸電気工事(2)/北陸電力(3)/ミス/マシナリー/明電舎/矢崎総業/米沢電気工事

環境材料工学科 川田ニット/コマツキャスト/三晶MEC/サントリーブロダクツ/中越合金鋳工/富山スガキ(2)/ファインネクス/明希総合設備/陽進堂/ YKK黒部事業所(2)

専攻科

機械・電気システム工学コース 朝日印刷/アステラスファーマテック/コマツNTC/シロウマサイエンス/北陸電気工事/宮本工業所/ユースキン製薬

機能材料工学コース アールタチバナ/川端鐵工/ダイト(2)/ティ・エス・ケイ/日本総合リサイクル/日本曹達株式会社/富士化学工業/自営

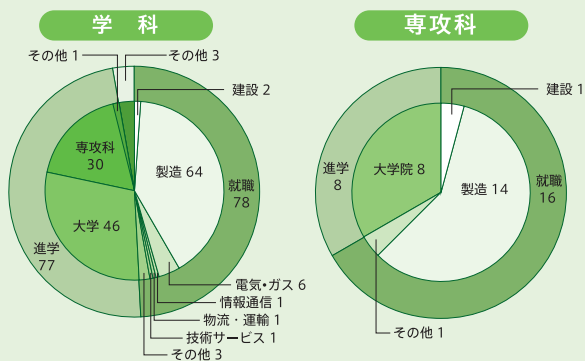
進学先

大学名は50音順に記載。

進学先	学 科				進学先	専攻科						
	機械	電気	物質	環境材料		機械	電気	物質	環境材料	進学先	機械・電気システム工学コース	機能材料工学コース
秋田大学		1			富山大学	1	1	3	2	大阪府立大学大学院	1	
大阪大学	1				豊橋技術科学大学		1	1	3	金沢大学大学院	1	1
岡山大学			1		長岡技術科学大学	1	1		7	神戸大学大学院	1	
金沢大学	1		2		名古屋大学	1	1			東京工業大学大学院	1	
九州工業大学		1			新潟大学	2	1	1	1	名古屋大学大学院	1	
京都工芸繊維大学			1		広島大学			1		奈良先端科学技術大学院大学	1	1
信州大学		1		2	山形大学		1					
筑波大学			1		富山高等専門学校専攻科	10	7	4	9			
東京工業大学		1		1	大阪航空専門学校				1			
東京農工大学			1									
徳島大学			1		合計	17	17	17	26	合計	6	2

まとめ

	卒業予定者	就職者	進学者	その他	
学 科	機械工学科	41	23	17	1
	電気工学科	41	23	17	1
	物質工学科	38	20	17	1
	環境材料工学科	38	12	26	0
	合計	158	78	77	3
専攻科	機械・電気システム工学コース	13	7	6	0
	機能材料工学コース	11	9	2	0
合計	24	16	8	0	



平成26年3月18日現在

就職先

企業名は50音順に記載。()内は人数。*商船学科と海事システム工学専攻は高専通信9号で掲載済

学 科

電子制御工学科 Mテック/大塚製薬工場/オムロンフィールドエンジニアリング/関西電力/キタムラ機械/KDDIエンジニアリング/サンエツ金属/サンコー/シーケー金属/新日軽北陸/東亜合成/東芝エレベータ/名古屋電機工業/日本セック/パナソニックシステムネットワークス/不二越/北陸電力/三菱電機ビルテクノサービス/山崎製パン/YKK黒部事業所(2)

情報工学科 アルファシステムズ/エヌ・ティ・ティ・コムウェア/エヌ・ティ・ティ・データ/エヌ・ティ・ティネオメイト/出光興産/北電情報システムサービス/北陸銀行/YKK黒部事業所(2)

国際流通学科 アイザックトランスポート/あいの風とやま鉄道/カネシン/ジェイアール東海ホテルズ/ジェイエーシートレーディング/富山県並行在来線準備会社/伏木富山海陸運送/北陸銀行/北陸電力/YKK黒部事業所(2)/外務省(2)/東京入国管理局/富山県庁/名古屋税関/横浜税関

商船学科(*) 旭運輸/旭タンカー/キセキ北陸/ウィングマリタイムサービス/SECOJ/川崎汽船/津軽海峡フェリー/ジャパンリユニテッド/益谷工業/新日本海フェリー/スミセ海運/大洋電気/大洋日本汽船/立山酒造/東海汽船/東洋信号通信社/東レ/名港海運/日本栄船/日本海運(2)/日本コンテナ・ターミナル(2)/ファブリカトヤマ/福寿企業/北陸発電工事/ボルテック(2)/山丸(2)

専攻科

制御情報システム工学専攻 旭化成/NTTホームテック(2)/ジェスクホリウチ/セイコーエプソン/ソフト/富山トヨタ自動車/北陸電機製造

国際ビジネス学専攻 信越化学工業/豊富産業グループ/日本オープンシステムズ/PFU/不二越情報システム/プレイバンステクノロジー/丸栄運輸機工

進学先

大学名は50音順に記載。

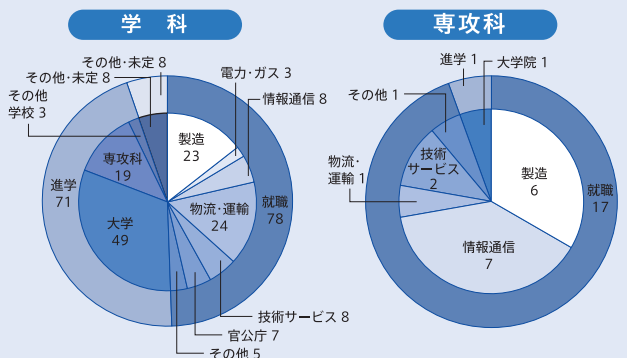
海事システム工学専攻(*) 日本海洋掘削/ヤンマーエネルギーシステム

学 科					専 攻 科								
進学先	商船	電子制御	情報	国際	進学先	商船	電子制御	情報	国際	進学先	制御情報	国際	海事
大阪大学				1	豊橋技術科学大学	3	4	2		豊橋技術科学大学大学院	1		
お茶の水女子大学			1	1	長岡技術科学大学		3	1					
金沢大学			1	1	名古屋大学				1				
京都工芸繊維大学		1			奈良女子大学				3				
岐阜大学			1		新潟大学			3	2				
神戸大学	2			2	広島大学			1					
埼玉大学				1	(私)上智大学				1				
滋賀大学				1	(私)新潟工科大学		1						
首都大学東京			1		富山高専専門学校専攻科	3	2	9	5				
信州大学		1		2	大原学園			1					
筑波大学			1		東京アカデミー			1					
電気通信大学			1		富山県立総合衛生学院				1				
東京海洋大学	1				合計								
東京外国語大学				1									
富山大学		1	2			9	13	26	23	合計	1		

まとめ

*商船学科と海事システム工学専攻は高専通信9号で掲載済

学 科	卒業予定者	就職者	進学者	その他
商船学科*	43	30	9	4
電子制御工学科	34	21	13	0
情報工学科	35	9	26	0
国際流通学科	45	18	23	4
合 計	157	78	71	8
専攻科				
制御情報システム工学専攻	9	8	1	0
国際ビジネス学専攻	7	7	0	0
海事システム工学専攻*	2	2	0	0
合 計	18	17	1	0



平成26年3月18日現在

就職・進学体験記



本郷キャンパス

就職活動を振り返って

機械工学科5年
貞隼人

就職活動で最初に始めたことは、「自己分析」です。自分が今まで何をしてきたのか、これから何をしていきたいのかを考え、そこから自分に合った企業を探し始めました。自己分析することによって、自分の強みや、将来に対する展望を明確にもつことができ、就職活動を有利に進めることができると思います。私の場合、小学生のときから変わらない思いがあり、その夢を叶えることを第一に考えました。早い段階から準備し、行動することによって、自分の理想通りの企業から内定をいただくことができたと思います。最後に、就職活動をするにあたり、協力してくださった先生方、先輩や両親に感謝します。



本郷キャンパス

受験・就活のまえに

電気工学科5年
舟木 翔太

私が後輩に伝えたいことは自己分析と繰り返しの大切さです。1年間クラスの就職進学状況を見て思ったのは、早い段階で自分の志望した会社・大学に決まった人は自分の現状(したい事、できる事、性格等)を明確に把握しており、自分にあったレベルまたは強い意志で進路設定をしており、すべき事を明確にしていました。そして、高いモチベーションを維持しすべきことを繰り返すことで揺るぎ無い自分を確立し、自分を売り出していたように思えます。私は自身を過大評価し、繰り返しを怠り、第一志望はダメでした。また最適な進路選択のために一人で決めず、先輩や先生、親と相談をすることを勧めます。



本郷キャンパス

就職活動を通じて感じたこと

物質工学科5年
島倉 舜

就職活動を始めたときから、エントリーシートに毎回頭を抱えました。部活もしておらず、成績優秀でもないため、記入するトピックがなかったからです。結局、特技などで記入欄を埋めることにしました。最初に受験した企業の面接では緊張のあまり頭が全く回らず、2社目では長所に関する事を聞かれ、その返答に窮し、内定に至りませんでした。そこで、自分のアピールポイントを絞ることにしました。面接時にそれと関連づけて話すようにすることで、3社目でようやく内定を頂けました。後輩の皆さんには、是非自信を持って言える自分のアピールポイントを見つけ、磨いておくことを強くお勧めします。



本郷キャンパス

編入学試験を終えて

環境材料工学科5年
堀田 謙弥

私は東京工業大学へ進学します。編入学について真剣に考え始めた時期は4年後期からで、また4年の12月頃から少しずつ勉強を始めました。勉強を真剣に始めた時期は4年の3月に入ってからで、それまでは部活動等と並行していたこともあって、1日1~2時間程度でした。4年の3月からは少なくとも平日は1日4~5時間、休日は7~8時間勉強していました。受験を考えている後輩に何かアドバイスを残せるとしたら、むやみやたらに勉強するのではなく、受験する大学の過去問を入手して傾向を把握してから取り組むことです。最後に、受験の際にご指導いただいた先生に心から御礼申し上げます。



本郷キャンパス

大学院進学への道

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム工学コース2年
林 翔太

私は本科在籍時から計測分野に興味があり、放射線計測に関する研究を行ってきました。研究を進めて知識を深めるとともに学会発表や情報収集を行う中で、計測システム開発だけでなくエネルギー、環境などの分野に応用できる量子ビーム計測に興味を持ちました。そして、研究室見学などを行い、自分の興味と合致した名古屋大学大学院への進学を決めました。入試に出題される分野によってはゼロからのスタートで、理解が難しく辛い時期もありましたが、周りの支えもあり無事合格することができました。進学後もこの目標に向けて努力した日々を忘れず、様々なことに挑戦したいと思います。



本郷キャンパス

就職活動を終えて 分かったこと

エコデザイン工学専攻 機能材料工学コース2年
佐藤 弘規

就職活動を通してわかったこと。それは、コネクションの重要性です。一般的な「コネ」のイメージでは「他人の力で…」と思われがちですが、そうではなく「人との繋がりと」解釈するべきです。人と繋がりを持つということは、自分の人脈を広げることになります。学校の友達だけでなく、親、先生、親戚等々、人生の先輩と交流し、さまざまな意見を交換した経験があるからこそ、自分の将来を明確にすることができ、その将来へ向かって行くことができると確信しました。社会へ出た後は、個人でやる仕事よりも、チームでの仕事のほうが多くなるので、これからも、人との繋がりを大事にしたいと思います。



射水キャンパス

いろんな方々の話を 伺うこと

商船学科5年
吉瀧 宏貴

私が就職活動を終えて大切だと感じたのは、「いろんな方々の話を伺うこと」。これに尽きます。私の場合は、5年生になった時点で船員になることを決めていました。しかし、私は船員という仕事についてあまりにも無知でした。ある企業を訪問した際に、担当の方から、船員の仕事のみならず、職業に対する家族の理解や覚悟などについて熱心に話していただく機会がありました。そのような、自分を導いてくれる先輩や、自らが成長できる環境のもとで働きたいと考え会社を決定しました。行き詰ったときには、様々な分野の人に積極的に話を伺うことで、思いもよぬアドバイスをいただけるのではないのでしょうか。



射水キャンパス

ディズニーで 働くのが夢でした。

電子制御工学科5年
陣内 活実

私が就活を始めたのは4年の1月です。その頃の私は入りたい会社を受けて落ちるのが怖くて、他の会社を受験していました。最初に受けた会社のESは2カ月かけて書きました。しかし、Web試験の段階で落ち、吹っ切れたように夢だった仕事の試験を受けることにしました。べ切まで時間が無く、ESは先に受けた会社の物を脚色し3時間で書き上げ、証明写真も700円のスピード写真を貼り、受かるわけがないと思っていました。だめもどで受けた面接は緊張することもなく…数日後、合格通知メールを下校バスの中で見ました。就活は思い切りが要だと思います。就活生の皆様、ご健闘をお祈りいたします。



射水キャンパス

就職・進学体験記

情報工学科5年
中山 雄大

私は来年度、豊橋技術科学大学の電気・電子情報工学課程に進学します。進学のための勉強は4年生の夏休みごろからしていました。ほとんどの大学は試験科目が数学・物理・英語のため、私は数学と物理を主に勉強していてわからないところがあれば先生に聞き自分の理解力を高め、問題に対する応用力を更に身につけました。現在は情報工学科に所属しており主にソフトウェアに関する知識や技術を学んでいます。来年からは電気・電子に関することを主として学び1つの分野だけでなく新しい分野に挑戦し自分の知識を広げ、多才な人間になろうと考えこの学科に進学することに決めました。



射水キャンパス

未知への挑戦

国際流通学科5年
畑田 茉莉菜

私の就活はまさにこの一言に尽きるものでした。技術者である母に影響され、機械に携わる仕事がしたいと漠然と考えてはいたものの、先輩の就職先は製造業などの事務が多く、私も初めは事務職を志望していました。しかし就活を進め、何社か面接を受けるうちに、せっかく機械の傍で働けるのに触れられないのはもどかしいと感じ、技術職を志望するようになりました。技術職は文系には難しいとはいえ、今までの自分の経験全てが無駄になるというわけではありません。やりたいことに対し、挑戦することが大事だと就活を通して改めて感じました。



射水キャンパス

就職活動を終えて

制御情報システム工学専攻2年
森 渉

私が旭化成という企業を就職先として意識したのは昨年1月に催された高専向けの企業説明会でした。当時はこんな会社もあるという認識にとどまり、あまり深くは考えていませんでしたが、様々な企業を知っていくうちに、この会社で働くということが現実的な選択肢として見えてきました。そして、旭化成について情報を集め、業務内容や企業理念についての理解を深めた結果、この会社で働きたいと強く思い、就職することを決めました。実際に働き始めなければわからないことも多く、不安は残りますが、富山高専卒であるという自覚を持ち、それに恥じないような行動をとっていきたくて考えています。



射水キャンパス

一瞬、一瞬を大切に

国際ビジネス学専攻2年
南 千絵

私は就職活動から一瞬一瞬を大切に前に進んでいくことが大切だと学びました。就職活動を振り返ってみると、失敗や後悔を感じることもありました。しかし、その時の結果は、その時の自分でしかないと考えています。大切なのはそこから何を学ぶかです。何を伝えたかったのか？ どうしたら伝えられたか？ 今、失敗できたのだからその経験を活かすことを忘れてはいけません。就職活動中でしかできないこと、聞けないこと、感じられないことがたくさんありました。自分の失敗を単に後悔するのではなく、次のチャンスに繋げられるよう前進していくことが大切だと思います。

インターンシップ



本郷キャンパス

インターンシップを終えて

機械システム工学科4年
竹村沙友理

私は夏季休業期間中にエンジンの燃焼プラグの製造・開発などを行っている日本特殊陶業株式会社 (NGK) にお世話になりました。5日間のインターンシップでは、設計、組み立て、社内施設見学など数多くの実習と研修を受けさせていただきました。参加する前は仕事に対して、パソコンや機械に向かってひたすら作業をしているイメージがありましたが、実際には、仕事を進める上で議論や笑顔が多く見られ、社内の雰囲気明るくて驚いたことを覚えています。今振り返ると、設計する人や組み立てる人、機械を使う人がそれぞれ異なっており、相手に自分の考えを的確に説明し、伝えることができるコミュニケーション力とチームとして目標を達成するという協調性が仕事を進める上で大事になってくるからであろうと思います。

学校の勉強で得ることのできない貴重な体験と時間を過ごすことができ、すべてに新鮮な気持ちで取り組むことができました。毎日がとても充実していて、思い出に残る5日間となりました。今回体験し学んだことを、これからの進路の選択に役立てていきたいと思っています。



本郷キャンパス

インターンシップに参加して

エコデザイン工学専攻
機能材料工学コース1年
廣瀬 凌矢

私は株式会社アライドマテリアル富山製作所で実習をさせていただきました。アライドマテリアルではタングステン、モリブデンといった特殊な金属を取り扱っています。私は材料学を専攻しており、これらの材料についての基礎知識はありますが、実際に製造工程や独自の研究内容に触れてみると、まだまだ知らないことが多く、今持っている基本的な知識を応用し、自ら工夫する力がもっと必要だと感じました。企業での研究は、期間が比較的長い学校での研究とは違い、顧客が明確に決まっている上に、納期がとても早いので、個々のニーズに合わせて素早く製品あるいは研究成果を出さなければいけないということ、万が一、良い結果が得られない場合でも、納期にあわせて早急に問題を改善する必要があること、また、そのための社内でのコミュニケーションの大切さ、情報を正確に伝えるためのディスカッション能力等々。専門知識を深めることも大切ですが、それ以上に、今後、技術者として働いていく上で、専攻科で何を身につけなければいけないか、改めて考える機会を得たインターンシップとなりました。



本郷キャンパス

インターンシップ実習を体験して

物質化学工学科4年
毛利 学人

私は滋賀県にある旭化成せいん株式会社で実習を受けました。インターンシップ先を考えるにあたり、私は大きく分けて3つの目標を立てました。1つ目は今まで知らなかった新しい分野への挑戦とそれに対する自分の適性を見出すこと、2つ目は学校で学んでいる内容が現場ではどのように活かされているかを知ることによって学習への意欲を高め、今後の学習目的の明確化を図ること、そして3つ目は仕事現場の雰囲気や職人気質を体験し、自分の社会人基礎力の底上げをすることです。工場ではスパンボンド法による不織布の製造過程を実習させていただき、その規模の大きさに驚きました。製品に混入した異物をIR測定により特定する業務やオムツをばらす実習も受けましたが、それらは通常インターンシップでは体験できない項目で「君はタイミングがよかったね」と言われ、自分は恵まれているなど嬉しく感じました。授業で習っていたIRなどを実際に使用し、勉強している実感が湧いたことは自分にとってプラスになったと思います。今回のインターンシップで学び得られたことを今後の学生生活に活かしていきたいと思っています。



本郷キャンパス

海外インターンシップを通して学んだこと

エコデザイン工学専攻
機械・電気システム工学コース1年
尾苗 晃一

私は昨年の夏、マレーシアのシャアラムにある立山オートマシンマレーシアでインターンシップを行いました。私が海外インターンシップに参加しようと考えたのは、異文化に触れることで自分の視野、考え方を広げたいと思ったからです。研修では、主に制御機器部品の取付けを中心とした組立作業を行いました。自分の英語能力ではどうしても伝わらず、身振り手振りだったり、絵を描いたりすることでコミュニケーションをとりました。しかし、細かな意味やニュアンスが汲み取れず、やりとりに予想以上の時間がかかり、語学力の必要性を強く感じました。マレーシアにはイスラム教の人が多く研修先も同様でした。そのため、お祈りのために毎週金曜の昼休みが長かったりと、日本との生活習慣の違いに驚くとともに大きな刺激となりました。この研修を通して、文化の違いを改めて実感し、語学的重要性を再認識することができました。一方で、工業的な知識や技能が不足していることも痛感させられました。今回の経験から得た考えをただの感想で終わらせたくない、更に研鑽を積んでいきたいと思っています。



射水キャンパス

インターンシップから 学んだこと

電子情報工学科4年
吉野 長浩

私は立山酒造株式会社様へ2週間のインターンシップへ行かせていただきました。インターンシップでは漠然とした自分の進路を少しでも固めることを目標に臨みました。インターンシップ中に企業の方から「学生の顔と社会人の顔は見ればわかる」と言われた言葉が頭に強く残っています。そう言われたときに社会人と学生で決定的に違うのはどこかと深く考えさせられました。結果、その違いは仕事に対する真剣さやプライドだと思いました。立山酒造の方々は「立山」という富山で一番有名なお酒を作っています。そのため他の会社と比べ一層のこだわりやプライドを持って仕事をされていました。学生生活だけではそういったプライドは十分に育ちません。この機会に企業の人たちが持っているプライドを垣間見ることができ、自分にとって大きくプラスとなりました。

最後となりましたが、このような機会を与えてくださった立山酒造株式会社様並びに富山県インターンシップ協会の皆様方及び本校学生課の方々には厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました。



射水キャンパス

国際インターンシップ を終えて

制御情報システム工学専攻1年
毛利 大佑

私は2013年8月18日から9月17日までの1カ月間、北アイルランドのバンガーでの国際インターンシップに参加しました。滞在先であるバンガーは牧場や公園に、羊や牛や野鳥といった様々な動物がいたり、街中には綺麗な花のあるガーデンがあったりと、とても素敵な街でした。宿泊先はCairn Bay LodgeというB&B (bed&breakfast) でした。そこで富山高専、石川高専、沼津高専、鈴鹿高専からの、全員で13人での共同生活を送りました。研修はSERC (South Eastern Regional College) という大学で行いました。SERCでの授業は大きく分けて英語学習と技術学習、チームビルディングの3つでした。チームビルディングでは、SERCの学生と一緒に協力して様々な問題を解決するというコミュニケーションの授業でした。この授業で、自分なりに相手と誠実に向き合い、理解しようと努めることで言語や文化が違って、良いコミュニケーションがとれることを学びました。学校の授業以外にも、観光や工場見学、SERC学生との学外活動など様々なことを経験し、毎日が刺激的でとても充実した楽しい1カ月間でした。



射水キャンパス

証券会社での インターンシップで学んだこと

国際ビジネス学科4年
新川 真衣

私は野村證券株式会社富山支店でのインターンシップに参加させていただきました。証券会社の業務内容を知り、今後の進路選択に役立てること、日常生活では感じられないことを肌で感じるこの二つの目的を持って今回の実習に参加しました。

証券会社の業務は、多くの資格がなければ行えないという環境の中でも、多くの社員の方々に講義していただき、実際に目で見て感じ取ることで、様々な知識を得ることができました。そして、社員間のやり取りや、お客様を第一に考えて仕事に向き合う姿勢、生き生きとしたみなさんの様子から、刺激を受けると同時に、そのような姿に強い憧れも抱きました。実習中に私が出会ったのは、仕事が好きで、自信を持って仕事に取り組む方ばかりでしたが、それは一人ひとりの向上心が強いからだと思います。社会人としてキャリアを積んでいくには、野村證券の方々のように、現状に満足せずに何事にも向上心をもって取り組むことが大切であると気づくことができました。

今回の実習で学ばせていただいたことを糧として、今後の学校生活や就職活動に活かしていきたいです。



射水キャンパス

国際インターンシップ を終えて

国際ビジネス学専攻1年
太田 恵利香

私は8月18日～ 9月17日の約1カ月間、北アイルランドでの国際インターンシップに参加しました。研修はSERC (South Eastern Regional College) という大学で行われ、英語だけでなく経営学系の講義も受けることができました。また、講義の中で日系企業のRYOBIやCanyonなど様々な企業を訪問させていただき、訪問先についてマーケティングや人的資源管理の内容をまとめることで、より知識を深めることができました。英語での授業、現地の学生との交流など、常に英語を使う機会があり、とても良い環境でした。

今回の研修を通して感じたことは、「言葉に出す」ということの大切さです。研修先ではほぼ英語の環境でした。英語の文化は、日本語とは異なり直接的で、会話において何事も明確に伝えます。研修先の先生方や学生たちとの交流を通して、ローコンテキスト社会では言葉によるコミュニケーションが重要視されることを実感しました。そのような文化の中にいるときこそ、日本にいるときの自分のままではなく、積極的に自分から動くことで得られることは増えると思いました。今回の研修を終えて、より海外に携わる仕事に就きたいと思いました。

退職教職員挨拶



本郷キャンパス
物質化学工学科
米谷 正

退職にあたって

私は昭和41年4月に富山工業高等専門学校工業化学科に入学、卒業後、直ちに同校に就職して今日に至っています。すなわち本校に通うようになり48年、本校に勤務すること43年になり、私は人生の大半を富山高専で過ごしてきました。

就職してからの43年を振り返ってみると、まずは有機合成化学の勉強、そして研究、生物化学の勉強、学会活動、学生の教育、学校の管理運営、さらに第三者評価への対応と年齢を重ねるとともに仕事の内容は大きく変わってきました。

しかし、卒業生名簿を見ながら振り返ると当時の学生の顔が思い浮かばれ、あの頃はあのようなことをしていたな、こういうことに悩んでいたな、と懐かしく思い出されます。

退職にあたって私は、「老兵は死なず、ただ消え去るのみ。(Old soldiers never die, but fade away.)」という言葉を実感しています。この43年間、いろいろな仕事をいろいろな立場でできて、他人にもお話できるようないくばくかの成果もあげることができました。今さわやかな気持ちで退職できることを皆様に感謝します。



本郷キャンパス
一般教養科(英語)
立野 彰

退職所感

私は、平成元年に富山高専に赴任しました。以来25年間、この学校で英語教師として教鞭を取ることにになりました。私の教員生活は、中学校を振り出しに高等学校、そして高専で終わることになる訳ですが、この学校を選んだ理由のひとつに受験勉強のための勉強ではなく、自分の夢を追うために必要な技能と教養を獲得するための教育が高専で可能なのではないかと考えたことがあります。高専はあくまで「ものを作ることが好きな人間に必要な技能と教養、そしてその楽しみと苦しみを与える」学校であってほ

しいと思っています。また「人間にとっての幸福とは何か」を常に考える技術者を輩出してほしいと思っています。この意味で高専は、教育の理想を体現できる素晴らしい環境を提供していると今でも信じています。卒業生と在校生が、日本に、そして世界に羽ばたくのを見るのが楽しみです。最後に、特に取り柄もない私が無事に定年を迎えられるのも、お世話になった関係教職員の皆様と、とりわけ私が教えることになった学生諸君の思いやりの賜であると思わざるをえません。この場を借りて厚く感謝いたします。



本郷キャンパス
物質化学工学科
丁子 哲治

環境材料工学科最後の学生とともに卒業

環境化学工学を専門とする私が、平成4年に富山高専に採用されたのは、当時の金属工学科を環境材料工学科へ改組するためだったようです。赴任直後から環境材料工学とはどのような分野なのかをいろいろ検討し、その結果に基づいて設置された新学科に第1期生を迎え入れたのが平成7年でした。その後の15年間で合計600人の学生が環境材料工学科に入学してきました。この最後の学生がこの3月に卒業しますが、その時を同じくして、環境材料工学科担当の私が富山高専を去ることになるのは何か

の因縁を感じざるを得ません。これまでの私の高専教員としての約20年間の教育研究についてまとめたところ、本年度の国立高専教員の最高賞である文部科学大臣賞を頂くこととなりましたが、これはすべて、これまで良き学生の皆さんに巡り会えた賜物だと感謝いたしております。

これからの富山高専はグローバルな高専としてのさらなる発展が期待されています。富山高専を卒業される学生の皆さんが今後とも世界でますます活躍されんことを祈念して、結びの言葉とさせていただきます。



射水キャンパス
国際ビジネス学科
館 清志

夢の実現に挑戦して下さい!

昭和49年、本校に採用され、早いもので勤務40年です。平成元年、地元富山では、「環日本海」を柱とした大きな動きがありました。まず、帆船「海王丸」の誘致が新湊に決定したこと。次に、富山空港から対岸諸国への直行便の就航。更に、富山県庁に日本海政策課の設置などです。これらの潮流は、平成8年に国際流通学科の設置につながり、翌年当該学科に配置換えとなり私自身大きな転機となる年でした。

高専初の文系学科は、試行錯誤の連続でした。社会が求める人物像を、商船の伝統を活用し人格形成に応用できな

いかということでした。そして、国際1期生から若潮丸実習を始め、結果として教育上効果的であったと思っています。さらに、海王丸財団との連携授業は、思い深い体験になったと感じています。

学生は、無限の可能性を持っています。夢を描くのも、実現に向け努力するのも自分です。人より努力することで、夢は叶うことを多くの学生から学びました。何事にも努力を惜しまず、人から信頼される人物になってほしいと思います。学生諸君、夢の実現に挑戦してください! お元気で!



本郷キャンパス
技術室統括技術長
土田 敏雄

平成4年より22年間、富山高専にお世話になりました。その間は学生実験、情報処理関係の支援を行ってきました。技術職員の組織化により技術室となり、個人から組織としての仕事に変化していきました。自分なりに頑張ってきたつもりですが、教職員の皆様には大変お世話になり、特に技術室長はじめ技術室の皆様にはご迷惑をお掛けしたと思います。皆様のおかげにより楽しく過ごさせていただき、無事退職を迎えることができました。本当に有難うございました。



射水キャンパス
技術室操機長
上 敏雄

この38年間、練習船若潮丸の乗組員として勤務しておりましたが、長いようであつという間だったような気がしております。私にとって学校は生活の一部であり、人生そのものでした。苦勞した頃の事や嬉しかったこと、お世話になった皆さんのお顔を思い出しております。こうしてつつがなくこの日を迎えることができましたのも、理解のある上司、心を割って話し合える同僚、優れた部下に恵まれたおかげと心より感謝をいたしております。本当にありがとうございました。



射水キャンパス
技術室技術長
空 浩

永年、技術職員として務めさせていただきましたが、この3月末で定年となります。振り返ると、職場は、学科の変更や新設、技術職員の組織化、独法化、学校統合などを経て、大きく変わってきました。また、仕事内容も、パソコンの普及、ネットワーク環境の充実などによって、勤め始めた頃には想像もできないくらいに変化しましたが、多くの方々に支えられて、なんとか、定年を迎えることができました。長い間、本当にありがとうございました。



射水キャンパス
管理課主査
中村 雅博

学校職員となって42年間、一時期実験実習の技官としての仕事をした以外は、施設担当職員として勤務してきました。学校を取り巻く環境は大きく変わり隔世の感がありますが、学校の施設の整備、維持管理という仕事は変わりませんでした。学生さんがこのキャンパスで過ごせてよかったと思われる環境整備に少しでも役に立てたのであれば幸いです。大きな事故もなく、無事退職の日を迎えることができたのも、関係教職員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

Toyama Kosen News & Topics

ニュース&トピックス

富山高専ホームページTopicsもご覧ください。
(<http://www.nc-toyama.ac.jp/>)



射水キャンパスロボコンチーム

「ロボコン大賞」受賞!



競技に臨む学生と「SuLuMe」

11月24日(日)に東京・両国の国技館にて開催された、全国高等専門学校ロボットコンテスト2013において、射水キャンパスの出場チーム「SuLuMe」(スルメ)が、最も優れたアイデアを実現したチームに贈られる「ロボコン大賞」を受賞しました。

今年の競技課題は「Shall We Jump?」で、縄回しロボットと高専生が回す縄を、もう1台のロボット

がジャンプしながら進み、速さや、連続して飛んだ回数などを競いました。

受賞したロボットは、大きなバルーンと半円状の複数の足が特徴です。バネや圧縮空気ジャンプするチームが多い中、ジャンプの方法が独創的でした。また、ふわふわとした動きと愛らしいデザインで、会場を盛り上げました。チームリーダーの小関君は、「メカトロ部で製作した「SuLuMe」がロボコン大賞を受賞することができ、非常にうれしく、皆で喜びを分かち合いました。指導して下さった石田先生や教職員の方々、何時でも送り迎えをしてくれた両親に感謝しています」と喜びを語ってくれました。



ロボコン大賞を受賞



富山高等専門学校

平成26年度行事予定

月	学 科	専 攻 科	学 外 行 事
4	入学式 始業式 新入生オリエンテーション 前学期授業開始 定期健康診断	入学式(射水・海事システム工学専攻を除く) 始業式 前学期授業開始 定期健康診断	
5	1年生合宿研修 第6回高専祭(北斗祭) 交通安全講習会 校内球技大会(本郷)	第6回高専祭(北斗祭) 交通安全講習会 校内球技大会(本郷)	
6	前学期中間試験	推薦入試・学力入試	
7	カッターレース大会 前学期期末試験(7・8月) 卒業研究発表会(射水・商船学科 7・8月)	カッターレース大会 特別研究発表会(射水・海事システム工学専攻)	北陸地区高専体育大会(6・7月) 全国商船高専漕艇大会(カッター部門)
8	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月) 夏季オープンキャンパス	夏季休業(8・9月) インターンシップ(8・9月)	全国高専体育大会
9	卒業式(射水・商船学科) 保護者懇談会(射水)	修了式(射水・海事システム工学専攻)	全国商船高専漕艇大会(ヨット部門)
10	後学期授業開始 県外工場見学(4年生) 県内工場見学(3年生) 校外研修(2年生) 消防訓練	入学式(射水・海事システム工学専攻) 後学期授業開始 消防訓練	プログラミングコンテスト(全国大会) ロボットコンテスト(東海北陸地区大会)
11	企業研究会 秋季オープンキャンパス 後学期中間試験	企業研究会	ロボットコンテスト(全国大会) デザインコンペティション(全国大会)
12	冬季休業(12・1月)	冬季休業(12・1月)	
1	学習到達度試験(3年生) 推薦入試		英語プレゼンテーションコンテスト(全国大会)
2	後学期期末試験 学力入試 終業式 卒業研究発表会(射水・商船学科を除く)	特別研究発表会(射水・海事システム工学専攻を除く)	
3	卒業式(射水・商船学科を除く)	修了式(射水・海事システム工学専攻を除く)	

Editor's room 編集後記



いもので高専通信もこれで10号になります。今回は、今年度最後の発行ということもあり、卒業生、修了生の話題を中心に集めました。卒業生、修了生は、3月末をもって5年間、あるいは7年間過ごした学舎を後にします。入学時は15歳でしたが、今は20歳や22歳になっています。在学中にはいろいろなことがあり、振り返ると様々な思いが込み上げてくることでしょう。そ

れを見守ってきた先生方にも感慨深いものがあると思います。そのような思いを少しでもお伝えできるように編集させていただきました。高専通信は、これからも学生、教職員の生の声をお届けしていこうと思っています。今後ともご愛読をよろしくお願いたします。

広報戦略室 西 敏行

問い合わせ先	本郷キャンパス : 〒939-8630 富山県富山市本郷町13番地 射水キャンパス : 〒933-0293 富山県射水市海老江練合1番2	TEL 076-493-5402 TEL 0766-86-5112	http://www.nc-toyama.ac.jp/
--------	---	--------------------------------------	---

